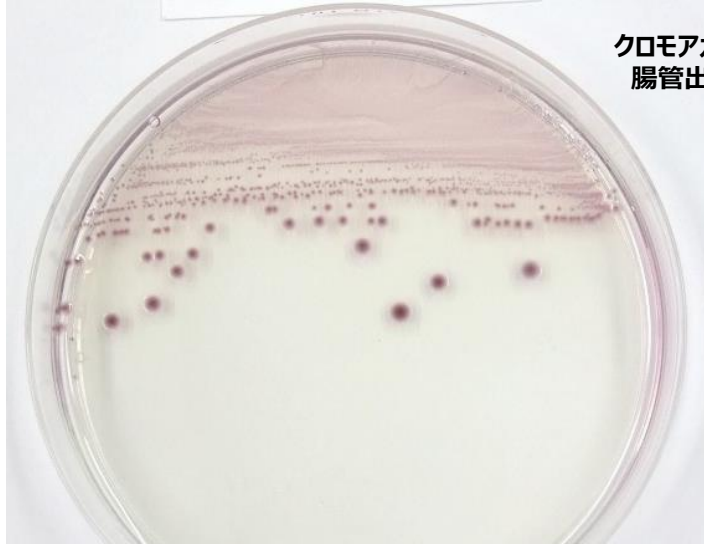


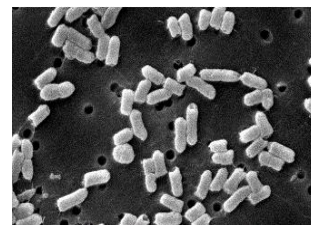
クモアガー-STECC培地上の  
腸管出血性大腸菌O26



## 腸管出血性大腸菌検査のご案内

食品中の腸管出血性大腸菌の検査法については、国内における感染報告数や重症化の報告例を踏まえ、「腸管出血性大腸菌O26、O103、O111、O121、O145及びO157の検査法」が通知されています。  
**当研究所では、通知に従った検査を受託しています。**

腸管出血性大腸菌大腸菌O157 : H7  
＜食品安全委員会事務局資料＞



第1段階 VT遺伝子検出試験。検出されなければ「陰性」検出されたら第2段階へ進む。

第2段階 O抗原遺伝子検出試験。検出されなければ「陰性」検出されたら第3段階へ進む。

第3段階 分離培養試験、生化学的性状試験、血清型別試験、VT遺伝子確認試験により確定。

検査料金:8,800円(消費税別)より

### ＜腸管出血性大腸菌＞

牛や豚などの家畜の腸の中にある病原大腸菌の一つで、O157やO111などがよく知られています。毒性の強いベロ毒素を出し、腹痛や水のような下痢、出血性の下痢を引き起こします。腸管出血性大腸菌は食肉などに付着し、肉を生で食べたり、加熱不十分な肉を食べたりすることによって食中毒を発症します。乳幼児や高齢者などは重症化し、死に至る場合があります。

### 【お問い合わせ先】

一般社団法人 食肉科学技術研究所  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目5番6号  
検査業務管理課 電話：03-3444-1946

